

北海道公立大学法人札幌医科大学
「年度計画」

平成24年度

北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	
1 教育に関する目標を達成するための措置	
(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置	1
(2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置	1
(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	1
(4) 学生への支援等に関する目標を達成するための措置	2
2 研究に関する目標を達成するための措置	
(1) 研究水準及び研究の成果に関する目標を達成するための措置	2
(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置	2
3 社会貢献に関する目標を達成するための措置	
(1) 地域医療等への貢献に関する目標を達成するための措置	2
(2) 産学官連携に関する目標を達成するための措置	3
(3) 国際交流・貢献に関する目標を達成するための措置	3
4 附属病院に関する目標を達成するための措置	
(1) 診療に関する目標を達成するための措置	3
(2) 臨床研究に関する目標を達成するための措置	3
(3) 地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置	3
(4) 運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置	4
第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置	
1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置	4
2 人事の改善に関する目標を達成するための措置	4
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	
1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置	4
2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	4
3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置	5
第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	
1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置	5
第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	
1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	5
第6 予算、収支計画及び資金計画	6
第7 短期借入金の限度額	
1 短期借入金の限度額	6
2 想定される理由	6
第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	6
第9 剰余金の使途	6
第10 その他	
1 施設及び設備に関する計画	6
2 人事に関する計画	6
3 積立金の使途	6
(別紙)	
平成24年度予算	7
平成24年度収支計画(損益)	8
平成24年度資金計画(キャッシュフロー)	9
(用語説明)	10

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置

ア 大学院課程

保健医療学研究科において、平成25年度から実施する科目に関し、具体的な内容や運営方法等について検討する。

イ 専攻科課程

策定した教育カリキュラムの効果的な展開を図る。

(2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置

ア 入学者の受入れ

(ア) 専攻科課程

入学希望者に向け、大学ホームページやリーフレット等による情報提供を行うとともに、説明会を開催するなど、積極的な広報を実施する。

イ 教育課程

(ア) 学士課程

【両学部共通】

- a アルバータ大学における英語研修プログラムを推進する。
- b 両学部の新たな共通科目に関し、平成25年度からの導入に向けて、科目内容等を決定する。

(イ) 大学院課程

【医学研究科】

平成20年度に設置した「臨床医学研究コース」の検証を行う。

(ウ) 専攻科課程

- a 策定した教育カリキュラムの効果的な展開を図る。(再掲)
- b 附属病院及び学外の医療機関等と連携した臨床教育・実習体制の円滑な運用を図る。

ウ 教育方法

e-ラーニングについて、FDの教育セミナー等を開催し、十分な知識の取得と全学的な共通認識を図る。

(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

ア 教育環境

(ア) e-ラーニングについて、FDの教育セミナー等を開催し、十分な知識の取得と全学的な共通認識を図る。(再掲)

(イ) 全学組織での検討結果をもとに、学籍情報等のデータ管理を効率的に行い、学生への情報提供機能を持つ新ネットワークシステムを構築する。

- (ウ) 長期保全計画に基づき、基礎医学研究棟の外壁改修、基礎医学研究棟他の中央監視設備等の電気設備に関する改修、臨床教育研究棟他の空調機器等の機械設備に関する改修を実施する。
- (エ) 平成23年度実施の学部学生懇談会のアンケート調査結果を踏まえ、図書館サービスの拡充について検討を行うとともに、引き続き購入希望図書の整備を行う。
- (オ) 教育支援上の観点から、標本館における所蔵資料のデジタル化、データベース化を推進する。

イ 教育の質

FD活動のためのセミナーやワークショップを実施し、参加者数の増を促す。

(4) 学生への支援等に関する目標を達成するための措置

ア 生活支援及び健康管理

- (ア) 学生の要望を踏まえ、福利厚生施設や学内環境の整備に努める。
- (イ) 生活相談、セクシャルハラスメント相談、アカデミックハラスメント相談等の総合相談体制の周知に努める。
- (ウ) 学生全員が健康診断を受診するよう取り組む。特に、大学院生の前年度未受診者に対しては、個別に周知を図り、受診を徹底させる。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究の成果に関する目標を達成するための措置

大学として重点的に取り組んでいるトランスレーショナルリサーチ事業を積極的に推進する。

(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置

ア 研究の質

- (ア) 橋渡し研究等の具体的効果が期待できる他大学との共同研究や連携活動を推進する。
- (イ) アンケート調査結果等を踏まえ、研究者ごとに改善策を盛り込んだ計画の作成のあり方について検討する。

イ 研究資金

競争的資金の申請件数を平成18年度に比べ10%増加するよう取り組む。

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 地域医療等への貢献に関する目標を達成するための措置

ア 臨床研修センターと臨床研修協力病院との連携を推進する。

イ 地域医療機関との診療連携を強化するため、逆紹介の取組など地域医療連携室の機能強化を検討する。

ウ(ア) 地域医療支援センターにおいて、緊急的な医師派遣要請や地域医療機関からの診療支援要請に、迅速かつ円滑に対応する。

- (イ) 派遣医師の処遇や地域医療支援に係る評価について検討を行う。
- (ウ) 地域からの要請に応じ、医師以外の医療専門職員を派遣する。

エ(ア) 各種メディア、自治体広報、ホームページ等を利用した積極的な情報発信を行う。

- (イ) a 図書館システム及び学術文献検索システムの改修を行い、運用を開始する。
- b 図書館サービスについて、関係機関に対し、パンフレット等により、周知の強化を図るとともに、引き続き、電子ジャーナルコンソーシアムの運用に取り組む。

(2) 産学官連携に関する目標を達成するための措置

橋渡し研究等の具体的効果が期待できる他大学との共同研究や連携活動を推進する。(再掲)

(3) 国際交流・貢献に関する目標を達成するための措置

ア 協定大学との交流を促進する。

イ 諸外国からの研修員の受入等により医療技術指導等の支援に取り組む。

ウ 学生等の海外研修について、参加学生の意見も踏まえ、改善・充実に向け、国際交流委員会等で検討を行う。

4 附属病院に関する目標を達成するための措置

(1) 診療に関する目標を達成するための措置

ア 患者の満足と信頼を得られる医療

- (ア) 診療機能・診療支援機能や外来診療体制の充実に図る。
- (イ) 入院患者に対し、早期回復や快適な入院生活を送れるよう給食の献立への配慮や食種の充実に図る。また、最適な栄養管理(NSTチーム医療含む)を実施するとともに、退院後の食生活を自己管理できるよう適切な栄養相談についても実施する。
- (ウ) 患者アンケートや相談に基づき、患者サービスの充実・環境改善に取り組む。
- (エ) 附属病院の機能強化に係る整備等について引き続き検討する。

(2) 臨床研究に関する目標を達成するための措置

高度化する医学に対応するための研究体制、治験体制を充実する。

(3) 地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

ア 臨床研修センターと臨床研修協力病院との連携を推進する。(再掲)

イ 地域医療機関との診療連携を強化するため、逆紹介の取組など地域医療連携室の機能強化を検討する。(再掲)

ウ 地域医療支援センターにおいて、緊急的な医師派遣要請や地域医療機関からの診療支援要請に、迅速かつ円滑に対応する。(再掲)

エ 派遣医師の処遇や地域医療支援に係る評価について検討を行う。(再掲)

オ 各種メディア、自治体広報、ホームページ等を利用した積極的な情報発信を行う。(再掲)

(4) 運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

- ア (ア) 病院事務局における事務の集中化や、事務の外部委託を実施する。
- (イ) 適切な診療報酬請求事務・査定対策を図るため、社会保険審査委員会と査定対策ワーキンググループを開催するほか、毎月、保険診療ニュースを発行し、医師に対する情報提供、委託業者に対する指導・監督等を行うとともに、毎月、国の医療制度改革の状況を速やかに院内に周知し、適切な診療報酬請求事務及び査定対策の充実強化に努める。
- イ (ア) 未収金残高を平成17年度実績と比べ60百万円圧縮する。
- (イ) 適切な診療報酬請求事務・査定対策を図るため、社会保険審査委員会と査定対策ワーキンググループを開催するほか、毎月、保険診療ニュースを発行し、医師に対する情報提供、委託業者に対する指導・監督等を行うとともに、毎月、国の医療制度改革の状況を速やかに院内に周知し、適切な診療報酬請求事務及び査定対策の充実強化に努める。(再掲)
- (ウ) 医療材料費比率の引き下げを図る。
- ウ (ア) 登録医療材料の標準化及び切替を行い、購入コストの削減を図る。
- (イ) 後発医薬品の利用拡大を図る。
- エ 部門毎の業務を見直す中で、委託範囲の見直しを図るほか、適切な職員の配置等により、運営コストの削減に努める。
- オ 附属病院の施設の充実や新たな病院機能について検討する。

第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置

1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置

(1) 事務等の改善

事務事業の定期的な点検を行い、業務の外部委託化等を推進する。

2 人事の改善に関する目標を達成するための措置

多様なプロパー職員の採用・育成を進め、派遣職員の漸減を図る。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置

中長期的な視点に立ち、法人化のメリットを生かし積極的に財務内容の改善に努め、運営費交付金依存率を平成24年度末時点で平成18年度比5ポイント縮減するよう取り組む。

2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- (1) 競争的資金の申請件数を平成18年度に比べ10%増加するよう取り組む。(再掲)
- (2) ホームページを活用した広告を実施する。
- (3) シンボルマークを使用したオリジナルグッズの販売により収入の確保に取り組む。

3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置

資産の適切なリスク管理を行うとともに、長期保全計画に基づき、基礎医学研究棟・附属病院棟の外壁改修、基礎医学研究棟他の中央監視設備や附属病院棟の受変電盤等の電気設備に関する改修、臨床教育研究棟・附属病院棟他の空調機器等の機械設備に関する改修を実施し、適切な施設管理を行う。

第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

- (1) 教育・研究・診療・社会貢献等の活動状況を、国内外に迅速、かつ、分かりやすく情報発信するためホームページの活用を推進するとともに、道民公開講座や様々な広報媒体を活用した効果的な広報活動を企画・展開する。
- (2) 各種メディア、自治体広報、ホームページ等を利用した積極的な情報発信を行う。(再掲)

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置

ファシリティマネジメントの取組として、施設については長期保全計画に基づき、基礎医学研究棟・附属病院棟の外壁改修、基礎医学研究棟他の中央監視設備や附属病院棟の受変電盤等の電気設備に関する改修、臨床教育研究棟・附属病院棟他の空調機器等の機械設備に関する改修を実施する。

第 6 予算、収支計画及び資金計画

別紙

第 7 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

1.8 億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故発生などにより緊急に必要となる対策費として借り入れすること。

第 8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

第 9 剰余金の使途

全学的観点に立ち、教育・研究・診療の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

第 10 その他

1 施設及び設備に関する計画

施設・設備の内容	予定額（百万円）	財 源
施設整備事業	567	施設整備費補助金
医療機器整備費	520	長期借入金

2 人事に関する計画

第 2 の 2 「人事の改善に関する目標を達成するための措置」に記載のとおり。

3 積立金の使途

なし

(別紙)

平成24年度予算

(単位：百万円)

区分	金額
収入	
運営費交付金	6,458
施設整備費補助金	567
自己収入	22,997
授業料及び入学検定料収入	887
附属病院収入	21,200
雑収入	910
受託研究等収入及び寄附金収入等	978
長期借入金収入	520
目的積立金取崩	821
計	32,341
支出	
業務費	29,979
教育研究経費	2,190
診療経費	11,594
人件費	15,429
一般管理費	766
施設整備費	1,087
受託研究等経費及び寄附金事業費等	741
長期借入金償還金	534
計	32,341

平成 2 4 年度収支計画（損益）

（単位：百万円）

区分	金額	
經常費用	30,748	
業務費	28,679	
教育研究經費		1,738
診療經費		11,206
受託研究費等		306
役員人件費		93
教員人件費		4,381
職員人件費		10,955
一般管理經費	524	
財務費用	14	
減価償却費	1,531	
經常収益	30,652	
運営費交付金収益	6,426	
授業料収益	782	
入学金収益	90	
検定料収益	16	
附属病院収益	21,200	
受託研究等収益	370	
寄附金収益	587	
雑益	877	
資産見返運営費交付金等戻入	59	
資産見返寄附金戻入	49	
資産見返補助金等戻入	83	
資産見返物品受贈額戻入	113	
經常利益	96	
臨時損失	-	
臨時利益	-	
純利益	96	
目的積立金取崩額	96	
総利益	0	

平成24年度資金計画（キャッシュフロー）

（単位：百万円）

区分	金額	
資金支出	32,341	
業務活動による支出	29,854	
投資活動による支出	1,953	
財務活動による支出	534	
資金収入	32,341	
業務活動による収入	31,254	
運営費交付金による収入		6,458
授業料及び入学金検定料による収入		887
附属病院収入		21,200
受託収入		337
寄附金収入		641
その他収入		1,731
投資活動による収入	567	
施設費による収入		567
財務活動による収入	520	

用語説明

[1 ページ]

【 e - ラーニング 】

パソコンやコンピュータネットワークなどを利用して行う教育方法。教室で学習を行う場合と比べ、遠隔地にも教育を提供できる点やコンピュータならではの教材が利用できる点などが特徴。

[2 ページ]

【 トランスレーショナルリサーチ 】

基礎的な研究成果を臨床の場へと効果的に応用、橋渡ししていく研究。

[4 ページ]

【 後発医薬品 】

製造方法などに関する特許権の期限が切れた先発医薬品について、特許権者でない医薬品製造企業がその特許内容を利用して製造した、同じ主成分を含んだ医薬品を指す。商品名でなく有効成分名を指す一般名 (generic name) で処方されることが多い欧米にならって、近年、「ジェネリック医薬品」と呼ばれるようになった。